

太郎坊宮所蔵の名品⑦



大正十一年（1922）
『名物一重蔓中牡丹縹地金欄 額装』（部分）
初代・龍村平蔵



奉祝

天皇陛下御即位



赤神山

赤神山

（あかがみやま）
『赤神山』とは太郎坊大神様がお鎮まりになる近江国高天原、すなわち太郎坊山の御名です。



↑ 太郎坊宮HP ↑

発行日 令和元年十二月三十一日
題 字 陸軍大将 一戸兵衛
発行者 太郎坊宮社務所
東近江市小脇町二二四七番地

世界有数の先進国である日本が、千年以上も昔の伝統儀礼を承継し続けている事は、大変な驚きであるようです。

即位礼に関する諸外国の報道に接すると、その多くが「アメーzing（驚嘆する）」や「グレイスフル（優雅である）」と形容しています。我が国が誇る悠久の歴史と国柄を、世界は羨望の眼差しで見つめているのです。

ご承知の方も多かろうと思いますが、神社祭祀は皇室祭祀と淵源を一にします。しかし、数多の皇室祭祀について理解を深めると、神社祭祀のみならず、我が国根本の在り方と密に関わっていることが明らかとなります。

新たに迎える令和二年は子年。古来、子年は繁栄の年と言われます。新帝陛下を戴く我が国が益々繁栄し、延いては世界の共存共栄のために尽くすことを祈るばかりです。

太郎坊・阿賀神社宮司 奥田素之

畏くも今上陛下が即位礼を挙行遊ばされた本年十月二十二日、我が国は奉祝の一念に包まれました。境内各所に設けた奉祝記帳所にも列が出来、多くの方々が記帳簿に名を認められました。そうした姿を拝見すると、皇室に対する国民の畏敬と親しみの思いを感じずにはられません。この「即位礼」とは、踐祚すなわち皇位につかれた天皇陛下が、その事を世界中に宣明される儀式です。儀式の中心とも言えるべき「即位礼正殿の儀」には百九十一もの外国王室や政府、国際機関の代表者が参列されたといえます。海外の人にとって

社務日誌（抄）

七月 七夕神事

合祀祭

献茶祭

千日大祭

九月 敬神講社甲賀支部講元役員会

拝殿大太鼓修繕清祓

観月祭

抜穂祭

国定登録有形文化財登録

十月 敬神講社蒲生支部講元役員会

敬神講社研修旅行

登録有形文化財登録奉告祭

即位礼当日祭

十一月 秋季講社大祭

功績者表彰式典

献菊祭

大嘗祭に伴う臨時大祓

大嘗祭当日祭

大麻神札絵馬等頒布始式

十二月 お火焚大祭

師走大祓

毎月 月次祭・不動明王尊月次祭

国定登録有形文化財に
正式登録されました

令和元年九月、太郎坊宮のご本殿を始めとする社殿や鳥居など、十五件の建造物が国の登録有形文化財に正式登録されました。



この制度は消滅の危機に晒されている文化財建造物を、後々まで伝えるためのものです。

今回の正式登録を受け、当神社では新しく『令和の大整備基金（仮称）』を設置。文化庁からの指導や助言を仰ぎつつ、保存修復事業を進めていくこととなりました。

建造物の恒久的な保存を図るため、本事業へ賛同頂いた方々から寄せられた浄財を基金として積み上げ、修復工

事を永続的に実施することを目標とします。文化遺産を後世へ継承すべく、ご崇敬各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。

◆登録有形文化財保存修復事業基金

『令和の大整備（仮称）』概要

【事業主体】

太郎坊宮（宗教法人 阿賀神社）

【目的】

登録有形文化財十五件の恒久的な保存及び修復を図り、以て神道文化の興隆と郷土文化振興の一助と為す。

【基金目標額】

文化財保護の観点から、金三億円を目標とする。

※詳細は改めてご案内申し上げます。



諸祭儀・諸行事のご報告

恒例の諸祭儀・諸行事は、皆さまのご奉賛を賜り、無事に斎行しました。

本年は、天皇陛下の御即位に関する祭儀も特別に行いました。

◆即位礼当日祭（十月二十二日）

天皇陛下が「即位礼正殿の儀」を挙行された日に行いました。午前十時より、拜殿において皇室の弥栄と国家の繁栄を祈願しました。



◆大嘗祭に伴う臨時大祓

（十一月十二日）

「大嘗祭」の実施を控え、日本中を清めるための神事を行いました。

◆大嘗祭当日祭（十一月十四日）

天皇陛下御即位の年にのみ行われる「大嘗祭」の斎行を太郎坊大神様にご奉告し、国家国民の安寧と繁栄をお祈りしました。

◆敬神講社研修旅行

（十月十五日～十六日）

今年度の研修旅行では、皇室伝来の「三種の神器」のうち「草薙剣」を祀る、愛知県の熱田神宮を参拝しました。信長や家康も信仰を寄せた熱田神宮の社殿は豪壮の一言。一同、熱田大神様の尊いご加護を祈念しました。

行程では三河国随一の古社・砥鹿神社の参拝や八丁味噌醸造蔵元の見学などもあり、有意義な研修を行うことができました。

お取り纏めの役員様を始め、ご参加頂いた百二十余名の皆さまには、厚く御礼申し上げます。



◆秋季敬神講社大祭および功績者表彰式典（十一月一日）

太郎坊宮最大の崇敬者団体、敬神講社の秋季大祭が行われました。

春と秋の二度行われる講社大祭では、敬神講社に加入しておられる皆様の家内安全・無病息災などが祈られます。

この大祭に併せ、永年敬神講社の維持発展に貢献された方々を顕彰する表彰式典も開催されました。本年度の表彰者は、次の方々です。



- | | |
|------|-------|
| 金田支部 | 堀川梅蔵様 |
| 湖東支部 | 木澤政男様 |
| 愛東支部 | 村山義幸様 |
| 長浜支部 | 松居政信様 |
| 虎姫支部 | 藤井長夫様 |

境内施設の整備を行いました

◆神田結界柵

ダイプラ株式会社様からご奉納頂いた材を使い、氏子の山路左官店様、氏子総代様、同OB会有志各位のお力添えを得て、組み換え修繕をしました。



◆拜殿前石造鳥居

拜殿前石造鳥居を、篤信崇敬者様の浄財をもとに再建立しました。

◆拜殿大太鼓張替え

拜殿にある大太鼓の皮革張替えを行いました。搬出入には、有志多数にご助勢頂きました。



ご奉納の御礼

本年も、崇敬者各位から数多くのご奉納を頂きました。玉垣石や木造鳥居といった建造物を始め、神祭具や修復資金など、多岐に亘ります。

また、東近江市に残る『狛の長者』

伝説と関係が深い『長者のかまど石』の移設・奉納も頂きました。この石は

「およそ一〇〇〇年以上前、太郎坊宮の近くに住んでいた長者が、かまどで使っていた」という言い伝えが残る、不思議な大石です。

その他、紙面の都合により全てを紹介することは叶いませんが、ご奉納頂いた皆様には改めて御礼申し上げます。

←『登録有形文化財選定の辞』を記した銘板を奉納頂きました



境内各所に↓

お祀りする七福神のご神名看板を奉納頂きました



社務雑感

今から十年ほど昔の大学生時代、今上陛下（当時は皇太子殿下）よりお言葉を賜ったことがあります。

陛下から「どういった分野をご専攻ですか」とご下問を頂き「神道を学んでおります」とお答えしたところ「神道は日本古来の訓えです。よく学ばれて下さい」との励ましを頂戴しました。

神道の訓えの根本は「清明正直」の四字にあると言われます。これは、日本人が大切に続けてきた美德そのものです。

陛下が仰せになった通り「神道を学ぶ」ということは「日本古来の訓えを学ぶ」ということに他なりません。陛下のお言葉を胸に、襟を正してこの道に邁進して参ります。

参集殿日誌（抄）

七月 私立延命こども園様

御神田清掃奉仕作業

八月 今野華都子先生

古事記塾

滋賀県神社庁様

湖東第一地区神職研修会

九月 NHK大津放送局様

「おうみ発630」取材撮影

朝日放送テレビ様

「おはよう朝日」取材撮影

笠井叡先生

阿賀神社合宿講座

KAT-TUN 上田竜也様

「KAT-TUNの世界」

タメになる旅」取材撮影

十月 八日市ライオンズクラブ様

月見同伴例会

東近江市観光協会様

「ちいさなたびいち」共催

十一月 瀬田商工会議所女性部様

研修会

十二月 縁起物等奉製式

延命こども園のみなさん
ありがとうございました

園歌にも「太郎のお山のうっ♪」と歌われている、太郎坊山のふもとの延命こども園。その園児さんが、神様の田んぼの草むしりをして下さいました。

太郎坊宮の神様も、天狗さんも、とても喜んでおられることと思います。これからも、きつとみななを見守って下さるはずです。年長組の皆さん、ありがとうございました。



「ちいさなたびいち」を
開催しました

太郎坊宮が建つ東近江市。その魅力を体験する企画「ちいさなたびいち」がありました。観光協会の呼びかけに応じた約四十か所の事業者が参加した今回。



当神社では、好評のお守りづくり体験をもとにした「特別なお守りづくり体験」を行いました。お守りに付いている特別なヒモ結び「叶結び」体験や、非公開神事への参列などなど・・・。

参加された方からは「お守りについて深く知ることができた」「世界に一つのお守りが作れて嬉しい！」と、喜びのお声を頂きました！

☆通常のお守りづくり体験は随時実施していますので、参集殿でお申し込み下さい（お守り一体験につき、一五〇〇円です）。



↓NHKでも、お守りづくりが紹介されました☆



新しい授与品の紹介

◆黄金の太郎坊天狗お守り

各色一五〇〇円

神社を守護する「太郎坊天狗」の姿をかたどった、黄金に輝くお守りです。沖繩を拠点に活躍する日本屈指の金工師に原型作成を依頼。更に、当神社神職が心身を清めて揮毫した「勝」の一字を彫刻しました。当神社でしか授かることのできない、勝利福授の特別なお守りです。

※飾り房三色（紫・黄・赤）



◆朱印帳袋

一〇〇〇円

「大切な朱印帳を入れる袋が欲しい」というご要望から生まれたオリジナル朱印帳袋です。

幸運を招く黄色

い布地に、神様の紋と天狗のイラストを四面フルカラーで描きました。

巾着袋タイプですので、いろいろな用途にお使いください！

◆必勝靴下

各六〇〇円

―戦国武将達は足袋に神様の御紋を描いて勝利を祈った―

こうした伝統に基づいて製作した、必勝靴下。金糸を使い、太郎坊宮の神様の紋と、力強い「勝」の一字を織り表しました。当社社だけの必勝アイテムです！

※サイズ展開・・・

25.0cm以下（白色）

25.0cm以上（黒色）



◆開運干支守

一五〇〇円

夫婦岩の原石を込めた陶器のお守りです。太郎坊宮近くの布引焼の匠が、一つ一つ手作りしました。令和二年の干支・子（ね）をかたどった限定一〇〇体の特別なお守りです。

開運干支守



太郎坊宮御神前(ごしんぜん)にそびえる
雄雌・夫婦岩(めおといわ)
その原石を込めた特別のお守りです
太郎坊宮 滋賀県東近江市

表紙解説

今号表紙『名物一重蔓中牡丹縹地金欄額装（部分）』は、数百年前から伝わる貴重な布地「名物裂（めいぶつぎれ）」の復元品です。

製作者の初代・龍村平蔵は古代の染織技術の研究と復元に尽力した人物です。本品は、大正時代末期に画家の黒田清輝らの依頼を受けて織り上げられたものです。

牡丹の花などが純金の糸で織り上げられた豪華絢爛な布で、百年前の染物・織物の極みともいえるべき逸品です。不定期公開。

— 神様への感謝の気持ちを形にして — 各種奉納のご案内

太郎坊宮の神様にお願ひ事をして、それが叶ったとき・・・。

「神様、ありがとうございます」という気持ちになりませんか—

神様へ「ありがとうございます」の思いをお伝えすることを、お礼参りといひます。真心込めてお礼をすると、神様へあなたの気持ちが届くはず。

その思いを込め、太郎坊宮の神様がお使いになる品々をささげていただくご案内です。

◆**狛犬（こまいぬ）**

神域の守護者。石造。お名前を彫刻します。三十八万円。

◆**燈籠（とうろう）**

御明かりを捧げます。石造。お名前を彫刻します。三十五万円。



◆**鳥居（とりい）**神域の結界。木造。

お名前を筆記します。七万円

◆**玉垣石（たまがきいし）**神域の境界。

石造。お名前を彫刻します。五万円。

◆**三方（さんぼう）・土器（どき）類**

神様がお使いになる食膳器台など。お名前を筆記します。五千円より。

◆**御鏡餅（おかがみもち）**新年を祝し

神様へ奉るお鏡餅。三千円より。

◆**神酒（おみき）**神様が召し上がる酒。

二千円より。

◆**日供（にっく）**毎朝、神様へ祈りと

共に奉げるお食事。年間一万二千円。

※記載品目以外の奉納も承っています。また、ご希望額のお初穂料（現金）による奉納も受け付けています。

毎月祈禱
毎日祈禱 ご案内

「神験即現（しんげんそくげん、尊い御利益がすぐに現れる）」とたたえられる太郎坊大神様のご加護を願われる方のため、毎日または毎月、神様にご祈禱を致します。

◆**毎日祈禱（まいにちきとう）**

神主が、毎朝ご祈禱をし、大神様のご加護があるよう祈ります。

※一年間の祈禱料・三万六千五百円。

◆**毎月祈禱（まいつききとう）**

神主が、毎月ご祈禱をし、大神様のご加護があるよう祈ります。

※年間の祈禱料・一万二千円。



新春

はつもうでのご案内



一月一日～五日まで
お正月限定お抹茶セット

一服五〇〇円也

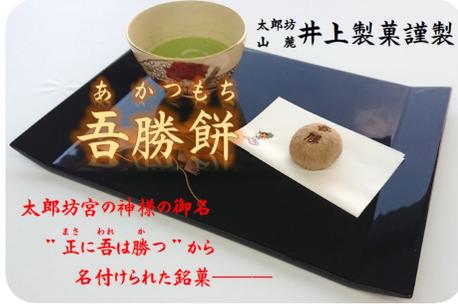
(お抹茶のほか、ゆず茶、こぶ茶
しょうが湯など、あたたか
飲み物を取り揃えています)

参集殿の喫茶コーナーでは、今年も
お抹茶と和菓子のセットを数量限定で
お出しします。

お菓子には、
太郎坊宮の神様
の名前を頂いた
銘菓「吾勝餅」
をご用意。

難しい作法は
何もありません
ので、気軽にお
越してください。

☆品物は多数ご用意しておりますが、
品切れの際はご容赦ください。



太郎坊宮の神様の御名
“正に吾は勝つ”から
名付けられた銘菓



皆さんおなじみ!
太郎坊だんご出店

初もうで名物!として
お馴染みの太郎坊だんご。
新しい一年の始まりに、
匠の「味」と「心」をご
堪能ください♪



- ◆ 近江米みたらし 三本 三〇〇円
- ◆ 黒蜜きなこ 三本 四〇〇円
- ◆ 抹茶みたらし 三本 三〇〇円

年末年始の社務ご案内

十二月三十一日 ～ 〇時迄



- 一月 一日 〇時～十九時頃
- 二日 八時～十八時頃
- 三日 八時～十八時頃
- 四日 八時～十七時頃
- 五日 八時～十七時頃

※都合により変更が生じる場合が
あります。ご了承下さい。

令和二年 正月

お抹茶セット

一〇〇円割引

- ◆ 本券一枚で三名様まで割引です
- ◆ お抹茶以外の飲み物もあります
- ◆ 一月一日～五日までとなります



年末年始の状況を お伝えします

初もうでの時に気になる「お天気」
「混み具合」。当神社ホームページで、
現在の神社内の状況をお伝えします。
また、お電話によるお問い合わせも
受け付けております。

通行規制のご案内

混雑防止のため、境内全域で一方通
行規制を行います。また、参道ドライ
ブウェーも一方通行規制となります。
警備員の誘導に従ってください。

※山道ドライブウェーの瓦屋寺

交差点より先は交互通行です。
くれぐれもご注意下さい!